

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	S.I.C.KIDS春日井校		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 26日		2024年 9月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41名	(回答者数) 33名
○従業者評価実施期間	2024年 8月 26日		2024年 9月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 9月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 思春期や反抗期で、集団だと話ができにくい利用者であっても個別に関わることで、様々な気持ちを引き出すことができる。 学校で嫌な事があった時など、体をたくさん動かすことによってストレスの発散ができる。 安心して大人と関わることで、徐々に集団への参加ができるようになる。 個別支援であることで、一人ひとりの利用者と十分に関わることで、「自分を見てくれている」という安心感を与えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> サイコロトークなどを遊びに取り入れ、会話のトレーニングと兼ねて気持ちを引き出し、発散に繋げられるようにしている。 利用者によって力を使い分け、指導員も本気で取り組んでいるところを見せることで、「どうせ大人は手加減する」という気持ちが生まれないようにしている。 事業所側が提示することだけに終わるのではなく、利用者の意見や要望を聞き、支援内容に取り入れている。 通所の度に担当指導員を変え、異なった視点から利用者の強みや弱み、変化に気付いていくことができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員が新しいメニューに取り組んでいる動画をLINEで送り、通所を楽しみにできるようにしている。 時に指導員対利用者で集団遊びを行い、本気で取り組み負ける悔しさを感じたり、気持ちを切り替えて再度取り組み、勝った喜びを感じたりできるようにしている。 同じトレーニングであっても、様々なルールや取り組み方を用意し、利用者に今必要な支援をピンポイントで提供できるようにしている。 個別支援計画書において、具体的な課題が設けられている場合は、時系列で振り返りができるように、支援記録とは別に適宜記録している。
2	<ul style="list-style-type: none"> 原始反射の統合に繋がるプログラムが確立されている。 提供できるトレーニング数が多い。 難易度の高いプログラムを用意しており、年齢や発達段階に応じたメニューの提供ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の動きの中に、プログラムを自然に入れ込んでいけるよう、タイミングを見逃さないようにしている。 個別支援計画書に記載されている活動例や、原始反射統合トレーニングを複数組み合わせるメニューを組んでいる。 同じ反射に向けたトレーニングでも、教具を変えたり、配置を変えたりするなどし、利用者の視点に立ち予定を立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> 突然新しいメニューを提示するなど、わくわくするような時間の提供を心がけている。 反射の統合を促すトレーニングや、目や手、体の協調性を育むトレーニングを単体のみで行うのではなく、その動きを取り入れた集団遊びや競争など、より利用者が楽しんで取り組めるように工夫している。 支援記録を通じ、指導員間でそれぞれの関わりを共有できるようにし、偏りの無いようにしている。
3	<ul style="list-style-type: none"> 体調不良等で、ご利用をキャンセルせざるを得なくなっても、ご利用可能日数が無駄になりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の固定利用枠以外で、利用可能な曜日と時間を事前アンケートにてリスト化。毎月個別の利用可能日数・予定・実績を一目で確認できるよう一覧で管理し、キャンセルが発生した際、迅速にご案内ができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートを活用し、より早い段階で利用のご提案ができるように心がけている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 指導員によって、能力に差があること。 設立から2年の間に職員の入れ替わり等があり、経験が浅い。 男性職員がいないため、体の大きい利用者や、暴れる利用者への対応が困難だと感じることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 勤務時間の殆どがサービス提供時間のため、当日の支援の打ち合わせ以外の相談や質問をする時間、話し合いの時間を長く確保することが難しいこと。 事業所内研修を行う時間の確保がなかなかできないこと。 自ら積極的に質問し、学ぼうという姿勢の欠如。 学校で嫌な思いをし、そのまま気持ちが切り替わらないまま通所している。 	<ul style="list-style-type: none"> 数分でも必ず話をする時間を設ける。 職員間のコミュニケーションをより密にし、様々な課題を共有したり、意見交換をスムーズに行えたりする環境を整えていく。 保護者からのご意見をいただいた際には、早急に改善できるように、対策を講じる。 事業所内研修をさらに充実させ、振り返りと学びの機会を多く設ける。 体の大きい利用者の気持ちが不安定だと感じた際には、早めにヘルプを出すなど、職員同士声をかけ合う。
2	<ul style="list-style-type: none"> 集団生活での利用者の姿が見えにくい。 集団での取り組みが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援に特化しているため。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者のニーズに合わせてイベント等を開催し、集団での様子や課題を把握できるようにする。
3	<ul style="list-style-type: none"> 待合室の音が響きすぎること、保護者に報告の内容が聞こえにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 建物の構造上、声が響きやすい。 複数利用の場合、利用者、保護者、きょうだい、職員に、利用人数をかけた全員が待合室に集まることになるため。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用が複数で、場所を変更した方が落ち着いて話ができると考えられる場合には、相談室や廊下などを利用して報告を行う。
4	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士の交流が無い。 昨年もご要望があったにも関わらず、交流の機会を設けることができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が事業所に集まる機会が無い。 	<ul style="list-style-type: none"> サービス提供時間外で交流時間を設けることも検討する。 早めに交流会の予定を立て、支援担当職員と保護者交流に立ち会う職員を分けて配置できるようシフトを組んでおく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	S.I.C.KIDS春日井校
------	----------------

公表日：2024年 9月30日

利用児童数：41名

回収数：33名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32	0	0	1	・職員の数に加え、利用者3～4人が一度に利用しても、運動を行うスペースが十分に確保されている。	・支援室は十分なスペースを確保しており、喜びのお声を多くいただいております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	32	0	0	1	・職員が1人産休中だが、増員した気配が無く、他職員への負担が心配。 ・子ども1人に対して、必ず職員が1人ついてくれるので、とても良いと思う。	・温かいご心配、ありがとうございます。おかげ様で9月より1名職員が増え、より余裕を持って支援ができるようになりました。 ・配置数は適切であり、基準の人数以上の職員を配置しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	1	0	0	・絵や文字で、場所や感情が相手に伝えやすいように掲示しており、随時増えているところに、工夫を感じる。	・必要に応じて、アップデートを行っておりますが、ご意見やご要望がございましたら遠慮なくお話しください。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33	0	0	0	・支援時間の合間に消毒がされている。 ・待合室の絵本をいつも楽しみにしている。	・毎朝と支援時間終了後に消毒と清掃を行い、清潔で安全に過ごせるようにしております。 ・保護者の方が寄付して下さることもあり、たくさんの本を用意することができています。昨年絵本コーナーを設けてから、落ち着いて座っていただけるお子様が増えました。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33	0	0	0	・無理をさせることなく、一つずつクリアできるようにして、成長させてくれている。 ・反射の残存に対し、専門的なアプローチを行っていると思う。	・スモールステップで目標を設定し、達成感を得られる関わりを心がけております。 ・生活での困りごとを解決に導くアプローチを心がけて支援を行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32	1	0	0		・原始反射の残存の影響によって起こり得る困りごとを改善するためのトレーニングプログラムを主に提供しております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32	0	0	1	・月ごとに、できていることを細かく書き出してくれており、わかりやすい。	・月ごとに振り返りを行うことで、成長の過程を把握していただきやすいようにしております。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	1	0	5	・ガイドラインをしっかりと見たことが無いため、わからない。	・ガイドラインはインターネット上にもございますが、今後はいつでも手にとっていただけるよう、待合室に設置いたします。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33	0	0	0	・聞き取りや通所時の話を次に繋げ、随時子どもの様子を見て変えてくれており、ありがたい。	・計画書を基に、ご本人にとって今必要な支援は何かを話し合い、支援内容を決めております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32	0	0	1	・その日にやったこと全てはわからないが、子どもが楽しんでいるので、工夫されていると思う。 ・毎回行うプログラムが変わっており、飽きずに楽しく取り組んでいる。	・計画書を基に、ご本人にとって今必要な支援は何かを話し合い、支援内容を決めております。 ・お子様が飽きないように職員同士相談しながら、支援内容を工夫しております。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	15	12	・そういった案内は無い。	・他事業所様等との交流は、プライバシーに関してご不安を抱かれる方も多く、できておりません。学校では会うことのない子同士が、事業所内で顔を合わせることで、時に一緒に遊ぶなど交流の時間を設けています。	
保	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32	1	0	0	・初めに説明を受けた。	・ご契約時と変更時に説明をさせていただいております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32	1	0	0	・計画内容と支援プログラムがどのように結びつくかの説明は無かった。	・現在の困りごとやご要望に対し、どのようにアプローチをかけていくかを考えて計画を作成し、説明をさせていただいております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24	5	0	4	・講座はありがたいが、保護者交流の機会も設けてほしい。	・保護者交流についてのアンケート実施を検討しております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	27	6	0	0	・熱心に話を聞いてくれている。もう少しゆっくりと話す時間がほしい。 ・日頃から伝え合うことは無いが、定期的に面談を行い、情報共有ができています。 ・脳に関してや反射など、初めと比べてどう変化してきているか、専門的な事が知りたい。	・支援終了後に当日の様子をお伝えしております。発達の状況については、モニタリング時または、検査を受けたと教えていただいた場合に共有できております。今後は事業所側から積極的に質問し、共通理解を深めていきたいと思っております。 ・営業時間内であれば、お時間を設けることができます。お早めにご相談ください。 ・ご希望に寄り添った説明を心がけてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	6	0	2	・「これが苦手だから、家庭ではこうするとよい。」などの助言がほしい。	・ご家庭と事業所とで並行してできそうな支援方法等を、ご提案させていただきます。

護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	0	0	0	・保護者からの聞き取りをしっかりと受けとめ、支援に生かしてくれている。	・モニタリング時や通所時などにお聞きした内容は直ちに共有し、支援内容に反映できるようにしております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	13	15	・是非開催してほしい。子どもたちが取り組んでいる内容を保護者も体験してみたい。 ・きょうだいに関してはわからない。	・貴重なご意見をありがとうございます。保護者体験会を兼ねた交流の機会を設けられるよう、検討してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	3	0	1	・とても熱心に受け入れてくれているが、時間が短く話したりない。 ・体制は整っていると思うが、相談したことが無いためわからない。	・よりご相談していただきやすい環境を整えていくことが課題だと感じております。支援時間中だけでは時間が短いというご意見をいただいておりますので、相談会などの開催を検討してまいります。また、営業時間内であれば、お時間を設けることができますので、通所日でない日でも遠慮なくご相談ください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	2	0	1	・話す時間が足りないと感じる。	・営業時間内であれば、お時間を設けることができますので、通所日でない日でも遠慮なくご相談ください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	22	2	0	9	・自己評価の結果がどこに載っているかわからない。 ・SNSの投稿が止まっていて寂しい。	・評価結果は、S.I.C.KIDSホームページに掲載しております。春日井校のページ最下部、評価表『保護者・事業所における評価結果』をクリックしていただくと、ご覧いただけます。 ・SNSの更新が滞っており、申し訳ございません。今後は定期的な更新を心がけてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	2	0	0		・ファイルや書類等は、鍵付きの書庫に保管しております。また、他児との関わりがあった際には、個人名を出さずに報告をさせていただいております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31	1	0	1	・待合室に設置してあるので、保護者が読んでいけば周知されていると思う。 ・訓練は実施されている。	・マニュアルは、待合室の靴箱の上に常時設置しております。 ・感染症対策、事故防止、緊急時対応の各訓練は、職員のみで行っております。利用者参加型の防犯訓練は、年度末に実施予定です。 ・職員が笛を吹いたら、利用者はすぐに職員の傍で座る、というミニ訓練を不定期で実施し、反射的に身を守るようにしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	32	0	0	1	・そういった期間が設けられ、実施されている。	・避難訓練週間を設け、全員のお子様に参加できるように、支援時間毎に実施しております。 ・職員が笛を吹いたら、利用者はすぐに職員の傍で座る、というミニ訓練を不定期で実施し、反射的に身を守るようにしております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	1	0	2	・マンツーマンなので、心配したことは無い。	・訓練を実施する際には、事前に詳細を記載したお便りを配付しております。 ・職員の立ち位置や補助の仕方などを常に見直し、安全に支援ができるよう努めています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	2	0	4	・怪我や事故でなくても、少しのトラブルも随時報告してくれる。	・事故があった際には、その時にすぐ報告をさせていただいております。その後職員で事故について検証し、報告書にまとめたものを保護者にご覧いただきながら、事故原因や改善点について報告説明をさせていただいております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	31	2	0	0	・マンツーマンなので、何かがあれば職員に伝えることができている様子。	・マンツーマンということで、嬉しい事や楽しい事、反対に不安に感じる事も伝えやすいようです。言葉を発することに課題のあるお子様には、コミュニケーションボードへの指さして気持ちを伝えられるよう、働きかけております。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	28	5	0	0	・毎回とても楽しみにしている。 ・新しいプログラムに、とても楽しみながら取り組んでいる。「もっとやりたい!」と言うこともある。	・飽きないように職員同士相談しながら、支援内容や環境設定を工夫しております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	33	0	0	0	・日にちを間違えて来てしまった時、嫌な顔ひとつせず対応してくれた。いつも感謝している。 ・素敵な支援にとっても満足している。	・いつもありがとうございます。よりご満足いただけるよう、支援内容や職員の関わりを見直してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	S.I.C.KIDS春日井校		公表日：2024年 9月30日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・複数名の利用者がある場合の安全な取り組み場所の確保、集中を妨げることの無いような立ち位置への配慮を適宜行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・1名の利用者に対して指導員1名、もしくは2名で支援を行っている。 ・マンツーマンが基本ではあるが、利用者の状態に応じて人数を増やしている。 ・基準の職員数に加え、加配の職員を配置している。 ・場合によって、シフトの調整を行っている。	・行動に特に注意が必要だと感じる利用者の通所日に、職員数に余裕の無いことがある。(より人手がほしいと感じる)
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・タイムタイマーや絵カード、写真を活用している。 ・以前保護者からご意見を頂戴し、絵カードや掲示の数を増やした。	・トイレ前に大きな段差があるが、構造上段差をなくすることは難しい。必要に応じて踏み台の設置を検討する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・利用者や日によって環境設定を変更し、興味を持てるようにしている。 ・利用者が入れ替わるタイミングで、環境整備や消毒を行っている。 ・布の教具は、洗濯や天日干しで、清潔を保てるようにしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・クールダウンが必要な際は、別室に案内している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	・気付いたことをその都度声に出して話し合うよう心がけている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・昨年度ご意見のあった項目について、即時対応可能な点において改善を行った。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		・第三者評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・3か月に一度、本部主催の研修機会が設けられており、参加している。 ・県や自治体等が開催する研修に、その時行くに相応しい職員が参加している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・支援プログラムは個別で連絡帳に記載し、口頭でもお伝えしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・支援中の何気ない会話から、本人の求めている事や悩みなどを聞き出すようにしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・支援会議を行い、利用者の成長や今後の課題について話し合っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・支援記録のファイルに支援計画書を綴じ、支援の度に必ず目を通してからプログラムを立てている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	0	6		・標準化されたアセスメントツールは使用していない。 ・事業所独自のアセスメントシートのみを使用している。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		・地域支援・地域連携について、保護者の意見を取り入れながら検討していく。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・都度相談してプログラムを作成している。 ・共同で支援を行う場合には行っている。 	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・前回行ったトレーニングは、できる限り外し、飽きないようにしている。 ・毎回記録を残し、当日のプログラムを作成する前に振り返ることができるようにしている。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション、行動面等の課題の改善や、リーダー性等の長所をのばしていくことができるよう計画を作成し、支援に反映している。 ・基本的にマンツーマン指導だが、利用者の目標に合わせ、他の利用者と活動する時間も設けている。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・補助の指導員が付く場合など、必要に応じて行っている。 ・SSTを行う際には内容を相談して決め、リハーサルを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせや役割分担などは必ず行っているが、支援内容については、常にチームで行ってはならず、個人で行うこともある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・個々での振り返りの後、共有すべき内容はその日の内に伝達している。重要度の高い内容は、議事録に記録し、伝え漏れの無いようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間が無く、支援終了毎には行えていないが、翌日の朝礼時に行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・声かけの内容、それに対する利用者の反応なども詳細に記録している。 ・誰が見てもわかりやすいよう、要点を簡潔にまとめるよう心がけている。 ・目標達成に関する記録を増やし、具体的な関わりや変化の記述を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録がトレーニングの内容のみにとどまり、目標に関する働きかけの記述が不十分なことがある。その都度声をかけ合い、より具体的な記録を残すよう心がけている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・出来る限り対象児の支援時間中に行い、お子様の様子を見ていただけるようにしている。 	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	2		<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流の活動が取り入れられていない。保護者と相談しながら検討していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が決めたプログラムだけを一方的に行うのではなく、利用者本人が選択できるような内容を用意し、働きかけている。 	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有のために学校を訪問する際は、全職員で振り返りを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までにサービス担当者会議が実施されたことがない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・学校へ連携依頼の手紙を送付している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園や学校との連携は、事業所からアクションを起こさないと取れない状況であるため、根本的な所から改善できるよう、自治体等に意見を述べていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	0	6		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎を行っていないため、学校との日常的な連携が難しい状況にはあるが、運動会や文化祭など、学校行事の日程だけでもわかるとよい。 ・事業所見学会など、先生に見に来ていただく機会があるとよい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・園での様子と事業所での様子を総合的に見て、就学後に必要な関わりを考えられるよう、共有に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学時に先入観を持たれたくないとの思いから、連携を望まれない保護者の場合、利用者の情報共有ができていく。 ・情報共有をしてほしくないという利用者が複数名おり、園（集団生活）での様子がわからない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	—	—	これまでに該当者なし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6		<ul style="list-style-type: none"> ・センターとの連携はとれていないため、必要に応じて相談の機会を設けるなどしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者以外の子どもも参加できるようなイベントの開催を検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会主催のイベントや研修等に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会が何かわからないという職員がいるため、知る機会を設ける。

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 支援終了後に、支援内容や利用者の様子をお伝えしている。 理解を深めるため、ご家庭や園での様子を、支援報告時に職員からお聞きしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 発達検査等の結果は、保護者から話が無い限り検査を受けられたかどうかの把握ができず、共有ができていないケースが多いのではと感じている。できるだけ共有いただけるよう、事業所側から積極的に働きかけていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> 本部主催の保護者向けセミナーの情報を、LINEやチラシ等で発信している。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアレントトレーニングの実践はできていない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 体験時や契約時に説明を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ご契約時にまとめて説明を行うため、保護者の記憶に残りにくいと感じている。 書類を紛失される方がみえるので、ご契約時にはファイルに綴じたものをお渡しし、気になった時にすぐ確認していただけるようにしたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> モニタリングの機会を設けている。 支援中の何気ない会話から、利用者本人の求めている事や悩みなどを聞き出すようにしている。 	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> モニタリングでお聞きしたニーズと、目標の関連性をお伝えしている。 	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1		<ul style="list-style-type: none"> 時間が短く、立ち話のようになってしまう時があるため、いつでも落ち着いてご相談いただける時間（機会）を設けていきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	6		<ul style="list-style-type: none"> 保護者会など、子育ての悩みを相談し合ったり情報を共有し合ったりできるような機会を設けられるとよい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 苦情記録を職員間で共有し、原因究明と改善方法について話し合いの場を設けている。 	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> Instagramにて情報発信や支援内容を発信している。 	<ul style="list-style-type: none"> Instagramの投稿が滞っている。更新の頻度を上げていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 支援中の様子は、お友達同士であっても、個人名は出さないようにして報告している。 Instagramの投稿時には、顔を隠している。 写真については、撮影、掲載共に事前に確認をとっている。 書類等は鍵付きの書庫に保管している。 	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションボードやカードを活用している。 声かけや会話の速度を、利用者によって変えている。 	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		<ul style="list-style-type: none"> 地域の方も参加できる、夏祭りやクリスマス会などの開催ができるとよい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 職員で行う訓練、利用者で行う訓練を年に数回行っている。 避難訓練以外の日でも、緊急時に啞嗟の対応ができるよう、ミニ訓練を行っている。 	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 安全計画と併せて計画を立て、訓練を実施している。 	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントシートにご記入をいただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントシートとは別に一覧表を設けると、より把握しやすい。 予防接種については確認をとっていないため、年度初めに確認をとれるよう、改善する。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	—	—	食べ物の提供は行っていない	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 職員の立ち位置や補助の仕方などを常に見直し、安全に支援ができるよう努めている。 研修や訓練の計画を立て、実施している。 教員点検を毎週行っている。 	
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> 訓練を行う際には、事前に詳細を記したお便りを配付している。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度初めに、年間計画をお渡しできるようにしていきたい。 計画に基づいた取組内容の全ては周知できていないので、こまめに発信していきたい。 	

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・朝礼時に、前日のヒヤリハットを読み上げ、共有している。	・ヒヤリハットへの意識が事故に比べて低い。事故未済のできごとであっても、なぜそうなったかの検証を常に行えるよう意識の向上を図る。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・事業所内研修の他、自治体等が開催する研修に積極的に参加し、事業所内で内容を共有している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・放課後等デイサービス計画の他、身体拘束に関する同意書へのサインをいただいている。	